



（豊城市民体育館）

▽男子決勝

興 南 28 (15 | 13) 13 コザ

▽女子決勝

浦 添 23 (13 | 10) 19 コザ

上原最多8得点

「シルバークレター」を返上した。昨年の真総体から2位が続いていた女子浦添が堅守速攻でコザを23-19で下し、3年ぶりに優勝。現メンバーでは初の頂点に、歓喜の涙を流した。

神谷綱史監督は、2年生を入れたオーダーも準備していた。提出時間ギリギリまで迷った末に「最後は3年生と心中する」と登録14人全員を3年生で固めた。

対するコザはU18代表の西田瑞歩にサイズのある1年生を加えた強力なバック陣で、女王那覇西を準決勝で破って決勝に進んだ。

立ち上がりは勢いに押され、開始15分で3-8と劣勢に。だが守備ラインを上げて突破を防ぐと、持ち味の堅守速攻が生き

3年14人で勝ち切る

女子



スポット

た。西田が退場する2分間に差を縮め、東江莉佳、池原果音の連続得点で逆転した。後半も勢いは止まらず、「身長が高い低いとか言われるのが本当に嫌い」と話す157センチの上原悠が鋭いカットインや速攻に加え、7びつスローも確実に決める活躍で突き放した。最多8得点の上原は「監督が言うことを素直に聞けない時期もあったけど、今半、右45度からシュートを放つ浦添の池原果音＝豊見城市民体育館（国吉聡志撮影）」と特別に乗り越えられる」と特別な夏に区切りを付けた。（富山学）

団結 浦添 堅守貫く



女子優勝の浦添



男子を制した興南

攻守とも盤石だった。男子興南は選手たちが願っていた全島3年生で臨み、コザとの決勝を28-13のダブルスコアで勝利。連覇を16に伸ばして後輩につないだ。「3-2-1」の激しい守備に加え、この日はGKが大当たり。スカイプレーを含め3度のノーマークを止めた中村譲は「点差を離して勝つというみんなの強い思いがあった。3年生全員でやり切った」

男子

圧倒 興南 盤石のV16



男子決勝 興南-コザ 前半、左サイドから10点目のシュートを決める興南の平田理雄

ダブルスコア 3年の集大成

と、交代して守った上原和真と共にチームへの貢献を喜んだ。攻撃ではバック陣のジャンプシュートが浮き上がってしまつたものの、サイドやポスト、カットインなど多彩な対応力を発揮した。瑞慶山充貴主将は「コロナで全国に行けないのは自分たちだけじゃない。まだやりたい気持ちはあるけれど、楽しく終わって悔いはない」とすがすがしい。黒島昭監督は「それぞれ次のステージで頑張つてほしい」と送り出した。